

近年、わが国では、人口の高齢化とともに認知症患者が著明に増加し、その対策は喫緊の課題となっています。透析患者の高齢化も著しく、認知症対策の重要性は年々増加しています。認知症合併透析患者の診療では、どのようにして安全に透析を行うか、いつまで透析を継続するか、導入患者の場合、透析を導入するか否か、など多くの問題が生じます。一方で興味深いことに、透析患者では透析歴が長いほど認知症の有病率が低いことが報告されています。生き残りバイアスの影響が考えられますが、透析療法自体の認知症予防効果の可能性も示唆されています。

そこで本特集では、透析患者の認知症に関する重要な課題について項立てし、まず、診断と鑑別、薬物治療については精神科の専門医に執筆を依頼

しました。そのほか、疫学、危険因子、予防のための透析法、運動療法、看護・介護、多職種連携に加え、透析見合わせや保存的腎臓療法（CKM）まで、認知症の問題について幅広く特集しました。本特集が皆様の日常診療の一助となれば幸いに存じます。

現在、新型コロナウイルス感染症がなかなか終息しないため、今後は with コロナを実践していくことが求められています。コロナウイルスの感染力は相変わらず強いままですが、その反面、徐々に弱毒化しているようにも思えますので、過度の警戒心を少しずつ解除し、一日でも早く、以前のような社会活動ができる日常を取り戻せることを願ってやみません。

（鶴屋和彦）

2022 年 (Vol. 38) 特集のご案内

- | | |
|---|-----------------------------------|
| No.① 透析患者の心臓病—診療の最前線を学ぼう | No.⑧ もっと知ろう 透析室での腎移植問題—腎移植と透析の移行期 |
| No.② 腎性貧血治療の課題と対策—HIF-PH 阻害薬, ESA, 鉄剤をめぐる | No.⑨ 痛みを訴える透析患者にどう対応するか |
| No.③ 多職種連携による透析医療 | No.⑩ 透析医療の gender diversity |
| No.④ 便秘と慢性腎臓病・透析医療 | No.⑪ 腎不全に携わる看護職のキャリアを考える |
| No.⑤ 透析療法における各種モニタリングの Front line | No.⑫ 透析患者の栄養状態と生活評価 |
| No.⑥ CKD 診療における漢方と補完代替療法 | No.⑬ 透析患者の認知症—診断・予防・治療・見合わせ・CKM |
| No.⑦ バスキュラーアクセスの作製・管理・修復の基本方針〔増刊号〕 | |

（既刊は○）

臨牀透析® Vol.38 No.13

© 2022 年 12 月 10 日発行

定価：2,860 円

（本体 2,600 円＋税 10%）

- ・ 2023 年 年間購読料 (増刊号含む 13 冊, 税込)
冊子版 39,050 円
電子版 (個人のみ) 39,050 円
冊子版＋電子版 (個人のみ) 44,550 円
（詳しくはホームページをご覧ください）
- ・ 年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2022, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY® < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541